

情報学研究科

総合生存学館を志望する者は、情報学研究科修士課程一般選抜試験では先端数理科学コースのみが第一次試験としての受験が可能である。他のコースの受験はできない。

総合生存学館の第一次試験で情報学研究科を受験する者は、当該コースで実施される入試説明会等に出席することを強く推奨する。

なお、先端数理科学コースの修士課程の教育は全て日本語で行われ、入学試験の出題も日本語で行われる。

以下の情報は、令和7年度情報学研究科修士課程学生募集要項に基づいて、総合生存学館志願者向けに作成した事項である。

1. 出願書類（研究科別）

P.8記載の（2）二次出願書類（共通）と併せて、第一次試験で情報学研究科先端数理科学コースの受験を希望する者は、以下の書類を出願書類と共に提出すること。

志望説明書	これまでの学修・研究の経過、志望動機、入学後の研究の抱負などを A4判2ページ以下にまとめたものを提出すること。冒頭に出願者名を明記し、卒業研究に相当する科目を履修した場合（履修中も含む）は、当該科目のテーマと内容も明記すること。（日本語または英語で、様式随意、文書作成ソフト等を使用して清書することが望ましい）
-------	--

二次出願書類（共通）及び（研究科別）の郵送

受付期間：2024年6月5日（水）～2024年6月19日（水）午後5時（必着）

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075) 762-2002, 2010

郵送は、書留速達便・レターパックプラス等の安全な手段によるものとし、封筒の表に「総合生存学館一貫制博士課程募集（2025年4月期）出願書類在中」と朱書（レターパックプラスの場合は「品名」に記載）のうえ、上記提出先へ送付すること。なお、提出された出願書類に不備があれば、総合生存学館教務掛から問い合わせることがある。

2. 入学者選抜方法及び学力検査日程

(1) 入学者の選抜は、出願書類の内容、学力検査（筆記試験・口頭試問）の成績により行う。

なお、先端数理科学コースにおいては、口頭試問の対象者は筆記試験の結果により決定され、合格者は口頭試問の対象者の中から決定される。

(2) 学力検査は、次の日程により情報学研究科において行う。

◎学力検査日程

試験科目の内容、出題範囲、選択形式などの詳細については、後掲 3. に記載されているので、熟読すること。

コース名	月日	試験時間	試験科目
先端数理科学コース	7月13日(土)	10:00～11:30	基礎科目
		13:00～14:30	専門科目
16:00～		口頭試問(注1)	
	7月14日(日)		予備日(注2)

注1. 口頭試問対象者及び口頭試問日時は、7月13日(土)午後3時45分までに情報学研究科事務室前入試用掲示板(総合研究8号館1階)に掲示する。

注2. 暴風警報等の発令により試験実施が困難な場合に、予備日を利用して試験の実施日程を繰り下げることがある。試験日を変更する場合は、試験当日の朝(午前7時まで)にWEBページ(<https://www.i.kyoto-u.ac.jp/>)にて告知するので、受験生は必ず事前に確認しておくこと。

(3) 試験場等受験に関する注意事項の掲示について

掲示内容については各自で確認すること。電話等による問い合わせには応じない。

日時: 7月13日(土)午前9時15分までに行う

場所: 情報学研究科事務室前入試用掲示板(総合研究8号館1階)

(4) 試験当日は、試験開始20分前までに当該試験室前に集合すること。

(5) 学力検査(筆記試験)に関する注意事項

- ① 試験室では必ず受験票を携帯し、試験監督の指示に従うこと。
- ② 試験に使用を認めるものは、黒鉛筆・シャープペンシル・鉛筆削り・消しゴム・定規・時計(計時機能だけのもの)・ハンカチ・ティッシュペーパー(中身だけを取り出したもの)に限る。スマートフォン・携帯電話等を机の上に出すことはできない。
- ③ 辞書・事典(電子辞書を含む)の使用を許可しない。
- ④ その他参照物は認めない。
- ⑤ 試験開始時間に遅れた場合は、各科目とも試験開始後30分以内に限り入室を認める。
- ⑥ 欠席した科目の点数は0点として扱う。2科目以上欠席した場合は失格として扱う。

(6) 口頭試問に関する注意事項

口頭試問の対象者で口頭試問を欠席した場合は失格として扱う。

3. 試験科目についての補足

先端数理科学コース

(ア) 「基礎科目」についての補足

2 題の必須問題と 3 題の選択問題の計 5 題が日本語で出題され、受験者は 3 題の選択問題の中から 1 題を解答時に選択して合計で 3 題を解答する（配点 150 点）。必須問題は理系学部の 1、2 年生で学修する程度の線型代数および微積分（留数等を利用する定積分の計算を含む）から出題される。選択問題は、線型代数、微積分に関する事項、および、常微分方程式、1 変数の複素解析に関する初歩的事項、質点・質点系の力学および剛体の力学に関する事項から出題される。

(イ) 「専門科目」についての補足

「解析学」「応用数学」「工業数学・計算力学」「統計力学」「流体力学」の合計 5 題が日本語で出題され、各受験者は解答時にこの中から 1 題を選択して解答する（配点 150 点）。

なお、上記の「応用数学」、「工業数学・計算力学」の指す具体的な内容は、以下の通りである。

応用数学： より進んだ内容の線型代数および微積分（ベクトル解析を含む）、1 変数の複素関数論、常微分方程式、偏微分方程式（初歩的な内容）、フーリエ解析、および数値解析・数値計算に関する事項など。

工業数学・計算力学：工学系学部で学習する程度の数学（ベクトル解析、複素解析、フーリエ解析等）に関する計算問題と数値計算に関する事項など。留数を利用する単純な定積分の計算は、原則として出題しない。

なお、試験準備の参考となる過去の出題等が（オ）のコースホームページには掲載されている。

(ウ) 口頭試問についての補足

基礎科目、専門科目の点数および出願書類の内容を総合して口頭試問対象者を決定し、口頭試問対象者に対して志望区分まで含めて可否により合格者を決定する 2 段階の選抜を行う。

口頭試問においては、志望動機、出身（在学する）大学での学習内容（特に卒業研究に関する内容）、志望区分及び希望する研究分野、筆記試験の内容などについての試問を原則として日本語で行う。

(エ) 志望区分及び研究分野

以下の 5 つのコース志望区分の中から、順位を付けて 3 つまで 記入すること。

志望区分 研究分野

先端－1 応用解析学、逆問題、非線型問題、偏微分方程式、数値解析、確率論、フラクタル解析

先端－2 非線形力学、非線形振動系、計算物理学

先端－3 理論神経科学、非平衡・非線形物理学、ネットワーク結合力学系

先端－4 数値シミュレーション、計算力学、計算工学

先端－5 流体力学、希薄気体力学、流体の数値計算

志望区分の順位等については口頭試問の際に再確認するが、その際に願書に書かれているものを変更

することを認める。

(オ) コースのホームページ

<https://www.acs.i.kyoto-u.ac.jp/>

(カ) 試験科目には「英語」を課していないが、入学後の学習では英語力は必要である。
修士課程の教育は、日本語で行う。